



Cisco Unified MeetingPlace Express と Cisco Unified Communications Manager とのコール制御統合の設定

この章の内容は、(音声、ビデオ、Web によるスケジュールされた会議や予約不要の会議に使用する) Cisco Unified MeetingPlace Express に適用されます。(アドホック会議に使用する) [Cisco Unified MeetingPlace Express VT](#) には適用されません。



(注)

Cisco Unified CallManager Release 4.3、Release 5.1、および Release 6.0 の名称は、それぞれ Cisco Unified Communications Manager Release 4.3、Release 5.1、および Release 6.0 に変更されました。

Cisco Unified CallManager Release 4.0、Release 4.1、Release 4.2、および Release 5.0 の名称は変更されていません。

この章では、Cisco Unified MeetingPlace Express との間にコールをルーティングするコール制御デバイスをシステムに統合する方法について説明します。

- [Cisco Unified Communications Manager との統合 \(P. 7-2\)](#)
- [ゲートキーパーを使用しない Cisco Unified Communications Manager との統合の設定方法 \(P. 7-3\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の設定方法 \(P. 7-8\)](#)
- [外部ディレクトリによるユーザ認証の設定方法 \(P. 7-14\)](#)

Cisco Unified Communications Manager との統合

Cisco Unified MeetingPlace Express および IP テレフォニー ネットワークでコール制御などのサービスを行うには、Cisco Unified Communications Manager を使用することをお勧めします。

表 7-1 Cisco Unified MeetingPlace Express と Cisco Unified Communications Manager との統合のオプションおよび機能

統合オプション	参照情報
コール制御の環境オプション	
(推奨) ゲートキーパーを使用した H.323 環境での統合	第 9 章「ゲートキーパーを使用した Cisco Unified MeetingPlace Express のコール制御統合の設定」
ゲートキーパーを使用しない H.323 環境での統合	ゲートキーパーを使用しない Cisco Unified Communications Manager との統合の設定方法 (P. 7-3)
SIP 環境での統合	第 10 章「SIP 環境での Cisco Unified MeetingPlace Express のコール制御統合の設定」
機能とサービスのオプション	
Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View	Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の設定方法 (P. 7-8)
外部ユーザの認証	外部ディレクトリによるユーザ認証の設定方法 (P. 7-14)
音声、ビデオ、Web のアドホック会議	アドホック会議についての情報 (P. 6-2)

ゲートキーパーを使用しない Cisco Unified Communications Manager との統合の設定方法

ここでは、H.323 環境で Cisco Unified CallManager Release 4.1 と Cisco Unified MeetingPlace Express を統合する方法について説明します。この方法では、Cisco Unified MeetingPlace Express は Cisco Unified Communications Manager に接続するゲートウェイとして設定されます。この設定ではゲートキーパーを使用しません。



(注) コール処理を冗長化するクラスタを備えた Cisco Unified Communications Manager の場合、プライマリ Cisco Unified Communications Manager サーバがダウンしたときにゲートキーパーがなければ、Cisco Unified MeetingPlace Express はダイヤルアウト コールを完了できません。ゲートキーパーを使用した Cisco Unified Communications Manager の統合については、[第 9 章「ゲートキーパーを使用した Cisco Unified MeetingPlace Express のコール制御統合の設定」](#)を参照してください。

H.323 環境でゲートキーパーを使用せずに Cisco Unified MeetingPlace Express を Cisco Unified Communications Manager と統合するには、次のタスクを完了します。

- [Cisco Unified Communications Manager の設定：ゲートウェイとルートパターンの追加 \(P. 7-3\)](#)
- [Cisco Unified MeetingPlace Express の設定：Cisco Unified Communications Manager への接続 \(P. 7-6\)](#)

Cisco Unified Communications Manager の設定：ゲートウェイとルートパターンの追加

ここでは、Cisco Unified Communications Manager の設定データベースに Cisco Unified MeetingPlace Express をゲートウェイとして指定する方法について説明します。また、電話番号とゲートウェイを関連付けることにより、Cisco Unified Communications Manager で Cisco Unified MeetingPlace Express にコールをルーティングする方法についても説明します。この関連付けをルートパターンと呼びます。



(注) Cisco Unified CallManager Release 4.3、Release 5.1、および Release 6.0 の名称は、それぞれ Cisco Unified Communications Manager Release 4.3、Release 5.1、および Release 6.0 に変更されました。

Cisco Unified CallManager Release 4.0、Release 4.1、Release 4.2、および Release 5.0 の名称は変更されていません。

始める前に

- Cisco Unified Communications Manager のリリースと Cisco Unified MeetingPlace Express のリリースに互換性があること。『[Release Notes for Cisco Unified MeetingPlace Express Release 2.0](#)』を参照してください。
- IP テレフォニー ネットワークが設定済みで正しく機能していること。次に例を示します。
 - Cisco Unified IP Phone が正しく接続され、Cisco Unified Communications Manager データベースに追加されていること。
 - Cisco Unified IP Phone で内部コールおよび外部コールを送受信できること。

制約事項

- タスクは、Cisco Unified Communications Manager のページで行います。ページの内容とメニューは Cisco Unified Communications Manager のリリースごとに異なるため、具体的な手順については、Cisco Unified Communications Manager のオンラインヘルプを参照してください。次の手順は、Cisco Unified CallManager Release 4.1 のものです。



(注)

この手順での Cisco Unified CallManager は、Cisco Unified CallManager と Cisco Unified Communications Manager の両方を指します。

手順

- ステップ 1** http://<ccm サーバ>/ccmadmin/main.asp にアクセスします。<ccm サーバ>には、Cisco Unified CallManager サーバの完全修飾ドメイン名、または IP アドレスを入力します。
- ステップ 2** Cisco Unified CallManager の管理者のユーザ名とパスワードを使用してログインします。
- ステップ 3** 次の手順で、Cisco Unified CallManager データベースにゲートウェイを追加します。
- [Device] > [Gateway] の順にクリックします。
 - 右上隅の [Add a New Gateway] をクリックします。
 - タイプとして [H.323 Gateway] を選択します。
 - デバイスプロトコルとして [H.225] を選択します。
 - [Next] をクリックします。
 - 表 7-2 の各フィールドを設定します。

表 7-2 Cisco Unified CallManager に新規ゲートウェイを追加するためのフィールド

[Gateway Configuration] ページのフィールド	アクション
Device Name	Cisco Unified MeetingPlace Express サーバのポート 1 (eth0) の IP アドレスまたはホスト名を入力。この値は、Cisco Unified MeetingPlace Express のインストール時に設定されます。 DNS を使用する場合は、「mpx-server.example.com」のように、完全修飾ドメインを使用してサーバ名を入力します。
Description	Cisco Unified CallManager に接続する他のサーバと新規ゲートウェイを区別するための簡単な説明文を入力。
Device Pool (デバイスプールを指定すると、Cisco Unified CallManager グループ、日付/時刻グループ、地域など、このデバイスのプロパティが決まります)。	デバイスプールが定義されていない場合は、[Default] を選択します。 Cisco Unified CallManager の配置にユーザ定義デバイスプールを使用する場合は、デバイスプールを新規作成するか、既存のデバイスプール（会議ゲートウェイ（またはブリッジ）に対応するコーデックが設定された地域用）を選択してください。 現在、Cisco Unified MeetingPlace Express では G.711 と G.729a のオーディオコーデックのみをサポートしています。

表 7-2 Cisco Unified CallManager に新規ゲートウェイを追加するためのフィールド (続き)

[Gateway Configuration] ページのフィールド	アクション
<p>Location</p> <p>(ロケーションを指定すると、ロケーションから送受信されるコールの総帯域幅が決まります。[None] に設定すると、ロケーション機能でこのデバイスの使用帯域幅を把握できません)。</p>	<p>ロケーションが定義されていない場合は、デフォルト値 ([None]) をそのまま使用します。</p> <p>Cisco Unified CallManager を配置するときにユーザ定義ロケーションを使用する場合は、このフィールドが WAN の QoS 設定と競合しないように設定します。ロケーションを新規作成するか、企業 WAN 内で会議ゲートウェイに相当する既存のロケーションを選択してください。</p>
<p>Signaling Port</p>	<p>デフォルト値 (1720) をそのまま使用。</p>
<p>Media Termination Point Required</p> <p>Media Termination Point (MTP; メディア ターミネーション ポイント) は、次の場合にだけ必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 会議に参加する G.711 以外のエンドポイント (G.729a のコール デバイスなど) があり、かつ G.729a ポートを設定していない場合。 G.711 や G.729a 以外のコーデックを使用して Cisco Unified MeetingPlace Express システムに発信するコール デバイスがある場合。MTP またはトランスコーダを使用するコールでは、ビデオが使用できないことに注意してください。 <p>この場合は、Cisco Unified MeetingPlace Express サーバと関連付けられているメディア リソース グループ リスト (MRGL) にトランスコーダがあること、かつ、トランスコーダと Cisco Unified MeetingPlace Express サーバ間のリージョン間設定に G.711 が使用されていることを確認してください。</p>	<p>ビデオを使用する場合は、このチェックボックスをオフにします。このチェックボックスがオンの場合、ビデオは機能しません。このチェックボックスをオンにすると、コールでビデオがサポートされません。MTP は必要なときにだけ使用してください。</p>
<p>Calling Search Space</p> <p>(CSS では、収集した発信側番号のルーティング方法を決定するときに検索対象となる複数のルート パーティションを指定します。この CSS を使用すると、Cisco Unified MeetingPlace Express からダイヤル可能なダイヤル パターンを制御して電話ハッカーを防止できます。たとえば、CSS を使用して国際電話をブロックできます)。</p>	<p>コーリング サーチ スペース (CSS) が定義されていない場合は、デフォルト値 ([None]) をそのまま使用。</p> <p>Cisco Unified CallManager を配置するときにユーザ定義 CSS を使用する場合は、CSS を新規作成するか、(会議参加者が会議に参加するときやヘルプデスク担当者に連絡するときに必要な電話番号に、会議ゲートウェイからダイヤル可能な) 既存の CSS を選択してください。</p>
<p>AAR Calling Search Space</p> <p>(AAR CSS を指定すると、帯域幅不足でブロックされた発信側番号のルーティング方法の決定時に検索対象となる複数のルート パーティションが決まります)。</p>	<p>AAR CSS が定義されていない場合は、デフォルト値 ([None]) をそのまま使用。</p> <p>Cisco Unified CallManager を配置するときにユーザ定義 CSS を使用する場合は、自動代替ルーティング (AAR) 実行時に当該デバイスが使用する適切な CSS を選択してください。</p>

- g. その他の必須フィールドは、Cisco Unified CallManager の現在の配置に合わせて適切に設定してください。各フィールドについては、Cisco Unified CallManager のオンライン ヘルプ、または Cisco Unified CallManager の個々のリリースのアドミニストレーション ガイドを参照してください。
- h. [Insert] をクリックします。

ステップ 4 次の手順で、Cisco Unified CallManager データベースにルート パターンを追加します。

- a. [Route Plan] > [Route/Hunt] > [Route Pattern] の順にクリックします。
- b. 右上隅の [Add a New Route Pattern] をクリックします。
- c. 表 7-3 の各フィールドを設定します。

表 7-3 Cisco Unified CallManager の新規ルート パターン追加用フィールド

[Route Pattern Configuration] ページのフィールド	アクション
Route Pattern	Cisco Unified MeetingPlace Express へのダイヤルイン番号を入力。スペースは使用できません。
Gateway or Route List	ステップ 3f. でゲートウェイに入力した Device Name に合った値を選択します。

- d. [Insert] をクリックします。

ステップ 5 Cisco Unified MeetingPlace Express のアクセス番号が複数ある場合は、次の番号を含むアクセス番号ごとにステップ 4 を繰り返してください。

- [Usage Configuration] ページで入力した会議電話番号
- 直接会議ダイヤルイン番号

ステップ 6 「Cisco Unified MeetingPlace Express の設定: Cisco Unified Communications Manager への接続」(P. 7-6)に進みます。

Cisco Unified MeetingPlace Express の設定: Cisco Unified Communications Manager への接続

始める前に

- 「Cisco Unified Communications Manager の設定: ゲートウェイとルート パターンの追加」(P. 7-3) 記載のタスクをすべて実行します。

制約事項

- [H.323 Configuration] ページのパラメータを変更すると、Cisco Unified MeetingPlace Express によって Cisco Unified Communications Manager などのコール制御デバイスとの H.323 信号が再初期化されます。再初期化には最大で 2 分ほどかかりますが、その間にコールや音声会議に支障が生じることがあります。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインして、[Administration] をクリックします。

ステップ 2 [System Configuration] > [Call Configuration] > [H.323 Configuration] の順にクリックします。

ステップ3 表 7-4 の各フィールドを設定します。

表 7-4 ゲートキーパーを使用しない Cisco Unified Communications Manager との統合において Cisco Unified MeetingPlace Express の [H.323 Configuration] ページに必要な設定

[H.323 Configuration] ページのフィールド	設定値 (必須)
H.323 enabled	Yes
Local H.323 port	1720 (デフォルト)
Use gatekeeper	No
H.323 gateway 1	Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレス。 Cisco Unified Communications Manager サーバがクラスタ構成の場合、コールを処理するプライマリ サーバの IP アドレスを入力してください。
H.323 gateway 2	コール処理を冗長化する、クラスタ内の他の Cisco Unified Communications Manager サーバの IP アドレス (存在する場合)。
H.323 gateway 3	
H.323 gateway 4	
H.323 gateway 5	

ステップ4 [Save] をクリックします。

ステップ5 [System Configuration] > [Call Configuration] > [Dial Configuration] の順にクリックします。

ステップ6 [Outdials] フィールドを [H.323] に設定します。

ステップ7 [Save] をクリックします。

ステップ8 Cisco Unified MeetingPlace Express システムにアクセスする電話番号に他の電話機から電話をかけて、この統合をテストします。「Cisco Unified MeetingPlace Express へようこそ」のメッセージが再生されます。

関連項目

- ゲートキーパーを使用しない Cisco Unified Communications Manager との統合の設定方法 (P. 7-3)
- フィールドリファレンス : H.323 設定 (P. C-60)
- フィールドリファレンス : ダイヤルの設定 (P. C-41)

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の設定方法

Cisco Unified Communications Manager の一機能である Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View は、文字や画像によるインタラクティブなコンテンツを XML アプリケーションで提供するもので、Cisco Unified IP Phone の特定モデルで利用できます。対応する電話モデルについては、『[Release Notes for Cisco Unified MeetingPlace Express Release 2.0](#)』を参照してください。

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View は、会議への参加、予約不要の会議の開始、予定されている会議のリスト表示、会議の詳細表示などに便利です。会議に参加したユーザは、会議のログ、会議の記録、参加者リストの表示、参加者の消音や退席といった機能を会議中に使用できます。



- (注)
- Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View は、Cisco Unified Communications Manager に登録済みの Cisco Unified IP Phone でのみ利用できます。
 - Cisco Unified Communications Manager Express は Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View をサポートしていません。

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View のセキュリティについて

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View を使用すると、Cisco Unified MeetingPlace Express システムやネットワークのセキュリティに影響する場合があります。

- Cisco Unified IP Phone は SSL をサポートしていません。
- Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に登録すると、誰でもその Cisco Unified IP Phone の画面を使用して、公開された会議の詳細や招待者を表示できます。ただし、Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View から会議に参加するユーザは常に、電話のプロファイルパスワード（数値 PIN）の入力を要求されます。
- Cisco Unified IP Phone から Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View にアクセスするたびに、ネットワーク経由で次の情報がクリアテキストで送信されます。
 - ユーザ名
 - PIN またはパスワード（表 7-5 を参照）
 - Cisco Unified IP Phone の電話番号

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に関するユーザ名とパスワードの要件について

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View への登録時に必要なユーザ名とパスワードは、ワークステーションから Cisco Unified MeetingPlace Express にログインするときのユーザ認証方法によって異なります。表 7-5 を参照してください。

表 7-5 Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View への登録時に必要なユーザ名とパスワード

Cisco Unified MeetingPlace Express の認証方法	name パラメータに必要なユーザ名	wfpassword パラメータに必要なパスワード
Cisco Unified MeetingPlace Express データベースでローカルから認証	Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザプロファイルの User ID	Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザプロファイルの Profile Password
Cisco Unified Communications Manager による外部認証	Cisco Unified Communications Manager のユーザ名	Cisco Unified Communications Manager の数値 PIN
Active Directory、Netscape Directory、または iPlanet Directory で外部から認証	外部ディレクトリのユーザ名	外部ディレクトリの数値 PIN

関連項目

- 外部ディレクトリによるユーザ認証の設定方法 (P. 7-14)

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の言語の要件について

ここに示す要件は、Cisco Unified MeetingPlace Express、Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified IP Phone を、複数のロケール（地域ごとの言語バージョン）に設定する場合に適用されます。

- Cisco Unified MeetingPlace Express で有効にする言語のロケールを Cisco Unified Communications Manager にインストールする必要があります。『Cisco IP Telephony Locale Installer』マニュアルを参照してください。
- Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に登録する Cisco Unified IP Phone のそれぞれについて、Cisco Unified Communications Manager で指定するユーザのロケールと Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザプロファイルで指定する **Language** を同じにする必要があります。

Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の設定

ここでは、ユーザを Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に登録してアクセスできるようにするための Cisco Unified Communications Manager の設定方法について説明します。

始める前に

- 次の項を参照してください。
 - Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View のセキュリティについて (P. 7-8)
 - Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に関するユーザ名とパスワードの要件について (P. 7-8)
 - Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の言語の要件について (P. 7-9)
- Cisco Unified Communications Manager を、Cisco Unified MeetingPlace Express のコール制御デバイスとして設定します。「Cisco Unified Communications Manager との統合」(P. 7-2) を参照してください。

制約事項

- Cisco Unified IP Phone は SSL をサポートしていません。
- Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View は、Cisco Unified Communications Manager に登録済みの Cisco Unified IP Phone でのみ使用できます。
- タスクは、Cisco Unified Communications Manager のページで行います。ページの内容とメニューは Cisco Unified Communications Manager のリリースごとに異なるため、具体的な手順については、Cisco Unified Communications Manager のオンラインヘルプを参照してください。次の手順は、Cisco Unified Communications Manager Release 6.0 のものです。



(注)


Cisco Unified CallManager Release 4.3、Release 5.1、および Release 6.0 の名称は、それぞれ Cisco Unified Communications Manager Release 4.3、Release 5.1、および Release 6.0 に変更されました。

Cisco Unified CallManager Release 4.0、Release 4.1、Release 4.2、および Release 5.0 の名称は変更されていません。

手順

- ステップ 1** `http://<ccm サーバ>/ccmadmin/main.asp` にアクセスします。<ccm サーバ> には、Cisco Unified Communications Manager サーバの完全修飾ドメイン名、または IP アドレスを入力します。
- ステップ 2** Cisco Unified Communications Manager の管理者のユーザ名とパスワードを使用してログインします。
- ステップ 3** 次の手順で Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View を新規追加します。
- [Device] > [Device Settings] > [Phone Services] の順にクリックします。
 - 左上隅の [Add New] をクリックします。
 - 表 7-6 に記載されている [Service Information] 領域のフィールドを設定します。

表 7-6 Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View のフィールド

Service Information フィールド	アクション
Service Name (Cisco Unified IP Phone と、ユーザ登録ページで使用可能なサービスのメニューに表示されるサービス名)	たとえば、「Cisco Unified MeetingPlace Express」と入力。 Cisco Unified MeetingPlace Express サーバが複数ある場合は、ユーザが各サーバを区別できるよう適切なサービス名にしてください。
Service Description (サービス内容の説明)	たとえば、「Integrated voice and web conferencing」と簡単な説明を入力。
ASCII Service Name	たとえば、「Cisco Unified MeetingPlace Express」と入力。CUMPE などの簡単な ASCII バージョンも入力できます。
Service URL (Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View アプリケーションの URL。このサービスを使用するには、Cisco Unified Communications Manager のクラスタ内の電話からネットワーク経由でこのサーバに接続できる必要があります)。	次の形式で URL を入力 (<サーバ> は、Cisco Unified MeetingPlace Express システムのホスト名または IP アドレス)。 http://<サーバ>:8080/MPAPI/ipphone/login?serverhost=<サーバ>:8080  (注) URL は大文字と小文字が区別されます。 サーバは Cisco Unified Communications Manager クラスタのサーバから独立しているものを使用してください。Cisco Unified Communications Manager サーバ、または Cisco Unified Communications Manager と関連付けられているサーバは指定できません (TFTP サーバやディレクトリ データベース パブリッシュ サーバなど)。

- [Save] をクリックします。
- (オプション) Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View をさらに追加するには、[New] をクリックし、手順 3c と手順 3d を繰り返します。
- 操作を完了するには、[Save and Close] をクリックします。


- ステップ 4** 次の手順で、追加した Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View を検索します。
- [Device] > [Device Settings] > [Phone Services] の順にクリックします。
 - [Find and List IP Phone Services] ページで [Find] をクリックします。
 - 一致レコード領域から、Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View を見つけます。

ステップ 5 Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View の名前をクリックします。

ステップ 6 次の手順で、この Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に Cisco IP Phone Number パラメータを追加します。

- a. [Service Parameter Information] 領域で [New] をクリックします。
- b. 表 7-7 に従って、[Configure Cisco IP Phone Service Parameter] ウィンドウの各フィールドを設定します。

表 7-7 Cisco IP Phone Number パラメータのフィールド

Service Parameter Information フィールド	アクション
Parameter Name (登録 URL の作成に使用される正確なクエリ文字列)	「ipphone」と入力。  (注) このフィールドでは大文字と小文字が区別されません。
Parameter Display Name (Cisco IP Phone Users Options (ccmuser) の Web サイトに表示される、わかりやすいパラメータ名)	「Cisco IP Phone Number」と入力。
Parameter Description (サービス登録時に表示される説明。正しいパラメータ値を入力するために、ユーザが参考にする説明です)。	「Your Cisco IP Phone number for MeetingPlace Express to call you」と入力。
Parameter is Required	[Parameter is Required] チェックボックスをオンにする。

- c. [Save] をクリックします。

ステップ 7 次の手順で、この Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に User Name パラメータを追加します。

- a. [Service Parameter Information] 領域で [New] をクリックします。
- b. 表 7-8 に従って、[Configure Cisco IP Phone Service Parameter] ウィンドウの各フィールドを設定します。

表 7-8 User Name パラメータのフィールド


Service Parameter Information フィールド	アクション
Parameter Name (登録 URL の作成に使用される正確なクエリ文字列)	「name」と入力。  (注) このフィールドでは大文字と小文字が区別されます。
Parameter Display Name (Cisco IP Phone Users Options (ccmuser) の Web サイトでユーザに表示される、わかりやすいパラメータ名)	「User Name」と入力。
Parameter Default Value	「guest」と入力。

表 7-8 User Name パラメータのフィールド (続き)


Service Parameter Information フィールド	アクション
Parameter Description (Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View への登録時にユーザが正しいユーザ名を入力するための説明)	わかりやすい説明を入力。 このユーザ名は、ワークステーションから Cisco Unified MeetingPlace Express にログインする際のユーザ認証方法によって異なります。「 Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に関するユーザ名とパスワードの要件について 」(P. 7-8) を参照してください。
Parameter is Required	[Parameter is Required] チェックボックスをオンにする。

- c. [Save] をクリックします。

ステップ 8 次の手順で、この Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に User Password パラメータを追加します。

- a. [Service Parameter Information] 領域で [New] をクリックします。
b. 表 7-9 に従って、[Configure Cisco IP Phone Service Parameter] ウィンドウの各フィールドを設定します。

表 7-9 User Password パラメータのフィールド

Service Parameter Information フィールド	アクション
Parameter Name (登録 URL の作成に使用される正確なクエリ文字列)	「wfpasword」と入力。  (注) このフィールドでは大文字と小文字が区別されます。
Parameter Display Name (Cisco IP Phone Users Options (ccmuser) の Web サイトに表示される、わかりやすいパラメータ名)	「User PIN」と入力。
Parameter Description (Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View への登録時にユーザが正しいパスワードを入力するための説明)	わかりやすい説明を入力。 このパスワードは、ワークステーションから Cisco Unified MeetingPlace Express にログインする際のユーザ認証方法によって異なります。「 Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に関するユーザ名とパスワードの要件について 」(P. 7-8) を参照してください。
Parameter is Required	[Parameter is Required] チェックボックスをオンにする。
Parameter is a Password (mask contents) (ユーザの入力時にパスワードがマスクされます)	[Parameter is a Password (mask contents)] チェックボックスをオンにする。

- c. [Save and Close] をクリックします。

ステップ 9 Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View とパラメータの変更内容を適用するには、次のいずれかの操作を実行します。

- ユーザの登録後にサービスを変更した場合は、[Update Subscriptions] をクリックしてユーザ登録内容をすべて再構築します。サービス URL を変更した場合、phone service パラメータを削除した場合、または phone service パラメータの名前を変更した場合は、登録内容を更新する必要があります。

- ユーザ登録内容を再構築する必要がない新規サービスの場合は、[Update] をクリックします。

ステップ 10 次の手順の一方または両方を実行して、Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に登録します。

- Cisco Unified Communications Manager を使用して、個々の Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に登録できます。Cisco Unified Communications Manager のアドミニストレーションガイドを参照してください。
 - エンドユーザに、各自の Cisco Unified IP Phone を Cisco Unified MeetingPlace Express Phone View に登録できることを通知します。『[User Guide for Cisco Unified MeetingPlace Express Release 2.0](#)』を参照してください。
-

外部ディレクトリによるユーザ認証の設定方法



(注)

外部ディレクトリからのユーザ認証は、Cisco Unified Communications Manager でのみサポートされています。

Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証に外部ディレクトリを使用すると、ユーザ プロファイル管理が簡単です。新規ユーザが Web で Cisco Unified MeetingPlace Express にログインし、外部ディレクトリを通じて認証された場合、ユーザ プロファイルが自動的にローカル データベースに作成されます。Cisco Unified MeetingPlace Express に電話でログインしようとする場合は、外部ディレクトリによるユーザ認証は行われません。

Cisco Unified MeetingPlace Express の各ユーザ プロファイルには (ローカルまたは外部の) 認証方法を設定でき、その方法は次の項目に影響します。

- 今後ユーザが Cisco Unified MeetingPlace Express にアクセスを試行する際に使用される認証方法。
- Cisco Unified MeetingPlace Express を使用してシステム管理者またはエンドユーザが変更するユーザ プロファイルパラメータ。

ユーザの認証方法は管理センターからは設定できません。認証方法はユーザ プロファイルのインポート ファイル内でのみ変更できます。[isLocalUser] フィールドを次のいずれかの値に設定します。

- Yes : Cisco Unified MeetingPlace Express データベースでローカルにユーザ認証を行う。ユーザ プロファイルのインポートや手動作成を管理センターから行う場合、Yes がデフォルト。
- No : 外部ディレクトリによるユーザ認証を行う。外部ディレクトリからの新規ユーザ認証時にユーザ プロファイルが自動作成される場合は、No がデフォルト。

関連項目

- [外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified CallManager Release 4.x \(P. 7-16\)](#)
- [外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified Communications Manager Release 5.x \(P. 7-17\)](#)
- [新規ユーザ プロファイルの追加方法 \(P. 11-7\)](#)
- [インポートプロセスによる複数のユーザ プロファイルのインポート \(P. 12-6\)](#)

外部ディレクトリによるユーザ認証の要件

Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証に外部ディレクトリを使用するには、Cisco Unified Communications Manager Release 4.0 以降が必要です。

表 7-10 に、サポートされる認証方法とディレクトリを示します。

表 7-10 外部ディレクトリでサポートしている認証方法

Cisco Unified Communications Manager リリース	認証方法	サポートしているディレクトリ
4.x	LDAP ¹	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Communications Manager DC-Directory² Cisco Unified Communications Manager³ の Cisco Customer Directory Configuration Plugin がインストールされている LDAP ディレクトリすべて
5.x	AXL SOAP API ⁴	<ul style="list-style-type: none"> Cisco Unified Communications Manager ユーザ ディレクトリ。 Cisco Unified Communications Manager⁵ と同期する LDAP ディレクトリすべて

- LDAP = Lightweight Directory Access Protocol
- DC-Directory = Data Connection Directory。Cisco Unified Communications Manager に組み込まれた LDAP ディレクトリ。
- サポートされる LDAP ディレクトリは、Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なります。使用している Cisco Unified Communications Manager のリリースについては、『Cisco Customer Directory 設定用プラグインのインストールおよびその設定』を参照してください。
- AXL SOAP API = Administrative XML Layer Simple Object Access Protocol Application Programming Interface
- Cisco Unified Communications Manager と LDAP ディレクトリの同期化については、Cisco Unified Communications Manager リリースのシステム ガイドおよびアドミニストレーション ガイドを参照してください。

外部ディレクトリによるユーザ認証の制約事項

外部ディレクトリによる認証中に自動作成されるユーザ プロファイル、またはインポート処理中に外部認証が要求されるように設定されたユーザ プロファイルには、次の制約事項が適用されます。

- 常に外部ディレクトリからユーザを認証。このため、Cisco Unified MeetingPlace Express と外部ディレクトリの接続に失敗すると、ユーザは Cisco Unified MeetingPlace Express にログインできなくなります。
- ユーザは外部ディレクトリから認証されるため、ユーザまたはシステム管理者による Cisco Unified MeetingPlace Express からの [User ID]、[User password]、[Profile Number]、および [Profile Password] フィールドの変更は不可。
- 外部ディレクトリにより認証されるユーザには、[Usage Configuration] ページの [Change profile password (days)] フィールドおよび [Change user password (days)] フィールドのパスワード有効期間は適用されない。

外部ディレクトリから生成する場合のユーザ プロファイルの設定

次のユーザ プロファイルの各フィールドは、ユーザが最初に Cisco Unified MeetingPlace Express システムにログインしたときに外部ディレクトリから生成されます。

- First name
- Last name
- User ID
- User password

- **Profile Number** : ユーザの電話番号に基づく固有の番号。
- **Profile Password** : 電話から Cisco Unified MeetingPlace Express にアクセスする際に使用する数値 PIN。
- **E-mail address**
- **Search order for “Find Me”**

外部ディレクトリに上記の各フィールドがない場合、Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザプロフィールの該当フィールドは空白になります。ユーザプロフィールのその他すべてのフィールドには、ゲストプロフィールの設定値が入力されます。



(注)

これらのフィールドは、外部ディレクトリとは同期されません。つまり、ユーザが最初にシステムにログインしたときのみ、インポートされます。以降のログインで、これらのフィールドの情報が外部ディレクトリで変更された場合、変更内容は Cisco Unified MeetingPlace Express には送信されません。

関連項目

- [ユーザプロフィールの設定方法 \(P. 11-6\)](#)

外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified CallManager Release 4.x

ここでは、Cisco Unified CallManager Release 4.x に組み込まれている、または統合されている外部ディレクトリからのユーザ認証の設定方法について説明します。



(注)

Cisco Unified CallManager 5.x に組み込まれている、または統合されている外部ディレクトリからのユーザ認証を設定する場合は、「[外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified Communications Manager Release 5.x](#)」(P. 7-17) を参照してください。

始める前に

- 次の項目を参照してください。
 - [外部ディレクトリによるユーザ認証の要件 \(P. 7-15\)](#)
 - [外部ディレクトリによるユーザ認証の制約事項 \(P. 7-15\)](#)
 - [外部ディレクトリから生成する場合のユーザプロフィールの設定 \(P. 7-15\)](#)
- Cisco Unified CallManager に組み込まれている DC-Directory とは別の LDAP ディレクトリに対して Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証を行う場合は、使用している Cisco Unified CallManager のリリースの『Cisco Customer Directory 設定用プラグインのインストールおよびその設定』に記載されている必要なタスクを実行してください。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインして、[Administration] をクリックします。

ステップ 2 [System Configuration] > [Usage Configuration] の順にクリックします。

ステップ 3 次のフィールドを設定します。

- **Cisco Unified Communications Manager/ Cisco Unified CallManager version** : Cisco Unified CallManager Release 4.x に設定します。
- **LDAP URL** : 次のように設定します。
 - http ではなく ldap で始まる URL であること。例 : `ldap://server-ip-address:port/`
 - URL の後にスペースを入れないこと。
- **Directory username** : LDAP 識別名の形式を使用します。例 : `cn=Directory Manager, o=cisco.com`
- **Password** : Cisco Unified CallManager のインストール時に指定したパスワードを使用します。
- **Cisco base** : Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証に Cisco Unified CallManager DC-Directory を使用しない場合は、何も入力しません。
- **User base**
- **Directory type**

ステップ 4 [Save] をクリックします。

関連項目

- [フィールドリファレンス : \[Usage Configuration\] ページ \(P. C-119\)](#)

外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified Communications Manager Release 5.x

Cisco Unified Communications Manager 5.x に組み込まれている、または統合されている外部ディレクトリからのユーザ認証を設定するには、次のタスクを両方とも実行してください。

1. [Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証をサポートするための Cisco Unified Communications Manager の設定 \(P. 7-17\)](#)
2. [Cisco Unified Communications Manager 5.x で外部ユーザ認証を行うための Cisco Unified MeetingPlace Express の設定 \(P. 7-19\)](#)



(注)

Cisco Unified CallManager 4.x に組み込まれている、または統合されている外部ディレクトリからのユーザ認証を設定する場合は、「[外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified CallManager Release 4.x](#)」(P. 7-16) を参照してください。

Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証をサポートするための Cisco Unified Communications Manager の設定

ここでは、次のいずれかのディレクトリから Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証ができるように、Cisco Unified Communications Manager Release 5.x でアプリケーション ユーザを作成する方法について説明します。

- Cisco Unified Communications Manager 5.x のユーザディレクトリ
- Cisco Unified Communications Manager 5.x と同期する LDAP ディレクトリすべて

Cisco Unified Communications Manager と LDAP ディレクトリの同期化については、Cisco Unified Communications Manager リリースのシステム ガイドおよびアドミニストレーション ガイドを参照してください。

始める前に

- 次の項目を参照してください。
 - 外部ディレクトリによるユーザ認証の要件 (P. 7-15)
 - 外部ディレクトリによるユーザ認証の制約事項 (P. 7-15)
 - 外部ディレクトリから生成する場合のユーザプロファイルの設定 (P. 7-15)
- Cisco Unified MeetingPlace Express など別のアプリケーションからアクセスできるように、Cisco Unified Communications Manager で AXL Web サービスを有効にしていることを確認します。Cisco Unified Communications Manager リリースの管理ドキュメントを参照してください。

手順

ステップ 1 `http://ccm-server/ccmadmin` にアクセスします。`ccm-server` は、Cisco Unified Communications Manager サーバの完全修飾ドメイン名または IP アドレスです。

ステップ 2 Cisco Unified Communications Manager の管理者のユーザ名とパスワードを使用してログインします。

ステップ 3 次の手順に従って、Cisco Unified MeetingPlace Express LDAP アプリケーションユーザを作成します。

- a. メインメニューから [User Management] を選択します。
- b. ドロップダウン リストから [Application User] を選択します。
- c. この新しいアプリケーション ユーザに、たとえば `mpeaxl` などのユーザ名を入力し、パスワードを割り当てます。

次のように設定して、この新しいアプリケーション ユーザを、Cisco Unified Communications Manager AXL データベースへのアクセス権を持つユーザ グループに関連付けます。

ステップ 4 次の手順に従って、AXL ユーザのロールを作成します。

- a. メインメニューから [User Management] を選択します。
- b. ドロップダウン リストから [Role] を選択します。
- c. [Name] フィールドに「Standard AXL API Access」と入力します。
- d. [Resource Access Information] の [AXL Database API] の隣にある [Allow to use API] の横のチェックボックスがオンになっていることを確認します。これで AXL データベースにアクセスできます。

ステップ 5 次の手順に従って、ユーザ グループを作成します。

- a. メインメニューから [User Management] を選択します。
- b. ドロップダウン リストから [User Group] を選択します。
- c. [Name] フィールドに「Standard AXL Users」と入力します。



(注) このユーザ グループがすでに存在する場合があります。その場合は、[ステップ 6](#) に進みます。

- d. [Save] をクリックして、グループを作成します。

ステップ 6 次の手順に従って、アプリケーション ユーザをグループに追加します。

- a. メインメニューから [User Management] を選択します。
- b. ドロップダウン リストから [User Group] を選択します。
- c. [Add Application Users to Group] をクリックします。
- d. **ステップ 3c** で作成したアプリケーション ユーザ名の横のチェックボックスをオンにします。
- e. [Add Selected] をクリックします。
- f. [Save] をクリックします。

ステップ 7 次の手順に従って、ユーザ グループにロールを割り当てます。

- a. メインメニューから [User Management] を選択します。
- b. ドロップダウン リストから [User Group] を選択します。
- c. 手順 4b で作成した Standard AXL API ユーザの横の [Role Information] アイコンをクリックします。
- d. [Assign Role to Group] をクリックします。
- e. [Standard AXL API Access] を選択して、[Add Selected] をクリックします。
- f. [Save] をクリックします。

関連項目

- [外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified Communications Manager Release 5.x \(P. 7-17\)](#)

Cisco Unified Communications Manager 5.x で外部ユーザ認証を行うための Cisco Unified MeetingPlace Express の設定

ここでは、Cisco Unified MeetingPlace Express を設定して、次のいずれかのディレクトリからユーザ認証を行う方法について説明します。

- Cisco Unified Communications Manager 5.x のユーザ ディレクトリ
- Cisco Unified Communications Manager 5.x と同期する LDAP ディレクトリすべて

Cisco Unified Communications Manager と LDAP ディレクトリの同期化については、Cisco Unified Communications Manager リリースのシステム ガイドおよびアドミニストレーション ガイドを参照してください。

始める前に

- 次の項目を参照してください。
 - [外部ディレクトリによるユーザ認証の要件 \(P. 7-15\)](#)
 - [外部ディレクトリによるユーザ認証の制約事項 \(P. 7-15\)](#)
 - [外部ディレクトリから生成する場合のユーザ プロファイルの設定 \(P. 7-15\)](#)
- 「[Cisco Unified Communications Manager 5.x で外部ユーザ認証を行うための Cisco Unified MeetingPlace Express の設定](#)」(P. 7-19) 記載のタスクをすべて実行します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified MeetingPlace Express にログインして、[Administration] をクリックします。

ステップ 2 [System Configuration] > [Usage Configuration] の順にクリックします。

ステップ 3 次のフィールドを設定します。

- [Cisco Unified Communications Manager/ Cisco Unified CallManager version](#) : Cisco Unified Communications Manager Release 5.x に設定します。
- [AXL username](#) : Cisco Unified Communications Manager で設定した Cisco Unified MeetingPlace Express のアプリケーション ユーザのユーザ名。「[Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証をサポートするための Cisco Unified Communications Manager の設定](#)」(P. 7-17) のステップ 3 を参照してください。
- [AXL password](#) : Cisco Unified Communications Manager で設定した Cisco Unified MeetingPlace Express のアプリケーション ユーザのパスワード。「[Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証をサポートするための Cisco Unified Communications Manager の設定](#)」(P. 7-17) のステップ 3 を参照してください。

ステップ 4 [New AXL URL] フィールドで次の手順を実行します。

- a. AXL ディレクトリ サーバの URL またはホスト名を入力します。
- b. [Add] をクリックします。

ステップ 5 [AXL URL] フィールドに URL またはホスト名が正しく表示されていることを確認します。

ステップ 6 [Save] をクリックします。

ステップ 7 「[Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ認証をサポートするための Cisco Unified Communications Manager の設定](#)」(P. 7-17) に進みます。

関連項目

- [外部ディレクトリからのユーザ認証の設定 : Cisco Unified Communications Manager Release 5.x \(P. 7-17\)](#)
- [フィールドリファレンス : \[Usage Configuration\] ページ \(P. C-119\)](#)